

COLUMN: 先生紹介 ▶ 吉田 樹生 (関目教室)



大学受験に直結! 中学英語の重要性

はじめまして、関目教室で個別クラス、チューターを担当しています、吉田樹生です。私は中学校の3年間、関目教室に通塾していました。その後、大阪国際大和田高等学校に進学し、現在大阪市立大学に在学しています。

今回、私は高校受験英語の大切さについて書かせていただきます。

皆さんは高校受験英語に対してどう思っていますか? 難しそう、この一点張りだと思います。そもそも中学から新たな教科となった英語の

授業そのものに苦手意識を感じている方もいるのではないかと思います。また、英語が苦手でも高校受験では内申点や他のテストでカバーして合格を勝ち取ることができると思っている人もいるかもしれません。ただし、この方法は大学受験では通用しません。大学受験で落ちる人の典型例は、得点しやすはずの英語で点を稼げないということです。ではなぜ得点を稼げないのか、理由は単純です。中学英語、高校受験英語と大学受験英語の違いは文章量と単語量のみです。問題内容に差はほとんどありません。ですから、中学のうちからしっかり英語を理解しておけば大学でも通用するということです。さらに子供の言語能力の形成

は15~16歳までとされています。つまり、中3までは英語の能力がかなり伸びるということです。逆にその時期を超えるとあまり伸びないということです。ですから今、しっかり英語を勉強することを僕は強く勧めます。現在カイチでは、英検の受験を推奨しています。これが英語を勉強するきっかけになっていいことだと思います。英語はやればやる分だけ伸びると言われています。しっかりと勉強して合格を勝ち取ってください。

今回は堅い話を書きましたが、普段の私は笑顔いっぱい的大学生で、「おもしろくて理解できる授業を!」をモットーにしています。これからも皆さんと一緒に、講師として、人間として成長していきたいと思えます。

高木の
ちょっと
イイ話

TEACHER'S VOICE 高木 秀章 (塾長)

第8回教育講演会 卒業生の真っ直ぐな言葉に感動

去る6月16日、鶴見区民ホールで第8回教育講演会「オール5を目指す。カイチ流学習法」を実施しました。参加人数は約150人。セミナーは大好評で、生徒達からも、「楽しかった」「学習法が良く分かった」などのコメントをたくさんいただきました(詳しくは、別紙もしくは動画を視聴していただければと思います)。私が特に印象に残ったのは松永君・塩崎さん二人の卒業生が登場した、先輩からの経験談のコーナーです。

二人が登場すると、生徒達の聞く姿勢が明らかに変化しました。同じカイチで学び、今は講師として指導している彼らは、生徒達にとっての憧れでもあり、近未来の自分達のモデルなのかも知れません。

二人が平均90点をどのようにして取り続けたのか(特に塩崎先生の自己ベストが499点

だったという場面では会場が響きました)や、スケジュールシートで自己管理する能力を身に付けたことが、後の高校生活や大学受験でいかに役立ったか、また留学では、知識があることで話題の起点ができ、コミュニケーションが取りやすくなるなど、今みんなが学んでいることは将来1つも無駄にならないことを、力強く



▲留学時のエピソードを語ってくれた塩崎先生



語ってくれました。卒業生の二人が大きな会場で堂々と生徒達に語りかけ、生徒達はその言葉に感化される。私も、真っ直ぐな彼らの言葉に聞き入りながら、彼らが自分の教え子であることがとても誇らしく思えました。



▲聞く生徒も真剣そのもの

- 学習部は7月23日(月)~8月25日(土)は夏期講習期間となり、通常授業と指導曜日・時間が異なります。詳しくは夏期講習のお知らせに記載しております。
- 夏期講習欠席生のために補講日を設定しています。補講日時については講習会のお知らせをご参照ください。
- 7月17日(火)・7月19日(木)・8月10日(金)~8月17日(金)・8月30日(木)は全コース休講日とさせていただきます。
- 7月17日(火)・7月19日(木)は面談と補講を実施致します。

カイチからのお知らせ

生徒と保護者と先生の共有ニュースレター

Growing

July 2018 Vol. 71
毎月10日発行

【本部】
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467



高木 秀章 (塾長)

~夏を制するものは受験を制す~

夏期講習の効果を最大化する秘訣

6月18日(月) 午前8時頃。突然の地震。阪神淡路大震災の時よりは小さいとはいえ、本棚からは本が落ち、もう一揺れで家具が倒れてしまいそうなただならめ揺れてした。

今回の震災で強く感じた事が2つ。1つはLINEの便利さ。福島や熊本地震の時もそうでしたが非常時に電話はダメでもLINEは繋がる。今回も、揺れの直後に先生達からグループLINEで「無事ですか?」のコメントが入り、そこから、学校が次々に休校になっている、道路が大渋滞、電車が軒並みストップしているなど、情報がどんどん入ってきました。普段は生徒達に「LINEをやりすぎるな!」と注意しますが、緊急時は頼りになります。

2つめは避難訓練の効果。地震直後、息子が心配で部屋を見に行くと机の下に避難していました。てっきり、我が家だけかなと思いきや、多くの子供達が地震直後に机の下に避難したと言います。学校行事として取り組んでいる避難訓練ですが、緊急時では大きな力を発揮することを改めて痛感しました。

今後も余震は引き続き懸念されます。私達も、避難場所、避難経路、緊急時の対応など、今回を機にしっかり備えたいと思えます。

7月に入り、中3生は三者懇談会に入っていると思います。この懇談会で、知って欲しいことは、「志望校」と「志望校レベルと自分とのレベル差」です。この差を埋める作業こそがまさに受験勉強で、差を知ること自分がどれだけ努力しなければならないのかがわかります。

そして、次に知って欲しいことが、受験生の皆さんには「時間がない」ということです。下の2学期以降のテストスケジュールを見てください。9月~11月の3カ月間に計11回のテストがあります。

これらのテスト結果が、受験校決定に使われるデータとなりますが、**2学期以降のテストスケジュール**

| | 学校テスト | 塾テスト |
|-----|------------------------------------|---------------|
| 7月 | | |
| 8月 | | |
| 9月 | 実力テスト(上旬) チャレンジテスト | 五ツ木模試 |
| 10月 | 実力テスト(上旬) 大阪府統一テスト 中間テスト(中旬) | 五ツ木模試 |
| 11月 | 実力テスト(上旬) 期末テスト(下旬) | 進研模試 五ツ木模試 |
| 12月 | 私立決定 ← | |
| 1月 | 実力テスト(上旬) 学年末テスト | 進研模試 |
| 2月 | 私立入試(上旬) 公立決定 ← | |
| 3月 | 公立入試(中旬) | |

特にこれらの中で重要視されるテストが、10・11月の実力テストと五ツ木模試です。実力テストは、中学校の私立訪問のデータとして各高校を受験できるかどうかの判断に使われ、塾では五ツ木模試の結果を同様に私立受験校決定に使います。

合否が決定する私立受験は2月ですが、どの私立を受験できるかの決定は、10月・11月のテストで決まります。

また、10月には5教科内申点を大きく左右する大阪府統一テストが実施されます。評価基準は右に載せておきますが、教科毎で基準点を満たせば、今までの通知表評価がどうであって、その教科の内申点が確約されます。公立入試がいくら実力重視になったとはいえ、やはり内申点が足りなければ公立高校合格は困難です。また、統一テストで内申確約を優位に進めることができます。

このような受験を左右する大切なテストが10月・11月にあることを考えると、まとまった時間が取れる夏休みにしっかり受験勉強しておくことがいかに重要かわかると思います。

「夏を制するものは、受験を制す」とは昔から言われることですが、志望校を決め、志望校と自分のレベル差を知り、目的意識を持って夏期講習に全力で取り組むことが、志望校合格の大きなカギとなります。

しかし、夏期講習は決して楽ではありません。時には易きに流れそうなこともあるかもしれませんが、そんな時のためにお勧めしておきたいことが「志望校の見学」です。

説明会が開かれていなくても、実際に通う交通手段を使って、正門まで行ってみてください。通学の際に見える風景、駅から学校までの町並み、正門の竹まい、通っている高校生の雰囲気。まだ、受験まで8カ月もある、しかし受験最大の山場を迎えようとしている皆さんにとって大切なことは、「自分は来年の春には高校生になり、ここに通学するんだ」というリアルを感じることです。

みんなの日々の努力は確実に志望校合格に繋がっています。それを実感するためにも、学校に足を運び、自分の目で、肌で志望校を感じてください。きっと、夏期講習への取り組みが大きく変わるはずですよ。

この夏みんなで共に頑張ったことが、来年の春には良い思い出に変わるよう、先生達も精一杯の指導を行います。中3の夏は人生で1度きりしかありません。悔いが残らないようにみんなで頑張きましょう。

大阪府統一テスト結果と内申付与

| 大阪府統一テスト | 内申点 |
|----------|-----|
| 6% | 5 |
| 12% | 4 |
| 21% | 3 |

▲大阪府統一テスト結果で上位6%の生徒が内申5を付与、次の12%が内申4を付与される。但し、通知表評価の方が高い生徒はそちらが採用される。

Focus



CLASSROOM REPORT 教室レポート

トーキングキッズ 第1回英検2級～5級 48人中36人(受験者の75%)が合格!!

マナロ 恭子 (バスカルクッズ 上本町教室)

今年3月から新システムのトーキングキッズが始まって初めての英検が6月にありました。英検受験希望の生徒達は、3月からこつこつと文法テキストを3冊こなし、5月からの1ヶ月間は過去問での直前対策に参加し、英検合格に向けて保護者の方のサポートもありながら、日々励んでまいりました。語彙・熟語を覚えるのに苦労したり、長文読解の内容が難しくて点数が伸び悩んだり、英作文で良い意見がなかなか思いつかなかったりと、様々な壁にぶち当たりながらも、短い期間の中でよくここまで、努力したと思います。

トーキングキッズが開講して3年目になりますが、生徒達は英語を楽しんで学んでくれてはいましたが、「自ら英語を学ぼうとしない生徒達」をどのようにして英語に興味を持たせ、「もっと英語を勉強したい!」と思わせられるかが日々の課題でした。しかし、新システムに切り替わり、「英検合格」という目標があることで生徒達の英語に対する気持ちがガラリと変わり、「理解しよう」とする前向きな姿勢が見られるようになりました。「英語が分かってきた」と生徒達や保護者の方から聞くことが増えてきて大変うれしく思っています。

私が担当する上本町教室では、現在、年長さんから小4生までの子供達がトーキングキッズに通っています。ピギナークラスの年長さんは、時には眠たくなることや、今日は勉強する気分じゃないという時もあるようで、突然泣いてしまうことや、なかなか集中しない時もありますが、自分の名前が英語で書けるように

なった時の喜びや、アルファベットテストに合格したときの喜びが英語学習を続けていくバネになっているようで、3月から始めてわずか3か月半で5級クラスへ昇進しました。お母さんは「5級の勉強なんてできますか?」と不安そうでしたが、本人はテストもしっかり合格してきて、今は難しい勉強を自分ではしているのだと誇りを持っているようで頼もしい姿を見せてくれています。

今回初めての英検合格への取り組みで私達が常に心掛けていたことは、「子供達の可能性を最後まで信じること」です。これは、カイチという会社全体が全生徒達に持っている一番の方針でもあります。「英検を受けたい」と私に言った日から「あなたが受けたいと言ったから先生は合格させる!」と言い続けてきました。同じ単語が何度も出てきているのに覚えられなかったり、なかなか合格点の70点を乗り越えられず、「もう合格なんて無理や」「こんな難しすぎる、できるわけないやん」と言い出して投げやりになったり、やる気をなくして休憩時間を過ぎてもなかなか教室に帰って来なかった生徒に「先生だけが一生懸命になっても仕方ないやん! 諦めるんだったら今ここで決めて!」と厳しく言ったこともありましたが、もちろん本人達は本気で諦めようと思っていないことは承知で、少し弱音を吐いただけかもしれないですが、それを口にしたたり、投げやりな態度に出してしまうと負けしてしまうような気がしたからです。私自身、ぎりぎりになっても合格点に達せない生徒に対して今回は厳し

いかなってしまうこともありましたが、「大丈夫! まだ1週間ある。これだけの単語は覚えられる」「あと2日あればこれは十分できる!」「大丈夫! 合格できる」と言い続けてきました。「あれやれ、これやれ。」というのは簡単です。大変なのは生徒達。それでも彼らはちゃんとそれを達成してくるので凄いです。

合格発表後、教室へ「先生、合格してたで!」とドヤ顔で入ってきた時の誇らしげな顔は忘れられないでしょう。また、今回合格させてあげられなかった生徒がいるのも現実です。私の力不足でとても悔しく思います。それにもかかわらず、「あと1問合っていたら合格してんで、次も受けるから。」と前向きな姿勢を見せてくれて私の方が励まされてしまいました。

トーキングキッズの指導で、子供達と「目標を持って、それに向かって、どのようにしていけば合格できるのか勉強の仕方を工夫し、それをこなすためにこつこつと努力し、そして目標を達成させたときの喜びを味わい、自分のできるのだと自信を持ち、また新しい目標に向かう」ということを、一緒に歩んでいけることが本当に素敵なことで、この仕事を大変におもしろいと思います。また、保護者の方のサポートも欠かせないということを今回の英検でとても実感いたしました。私達はこれからも生徒達の可能性を信じて「英検全員合格!」を目指し、共に歩んでいきたいと思います。



Education



KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育

いよいよ夏期講習がスタート!

熊谷 真宏 (今福教室)

梅雨が明け、今年もまた暑い夏がやってきました。1学期も終盤を迎え、いよいよ夏休みが始まります。すでに旅行などの予定が決まっています、今からワクワクしている人も多いのではないのでしょうか。

さて、カイチでは夏休み期間の7月23日(月)から8月25日(土)に夏期講習を行います。夏期講習期間中は小学部・中学部ともに通常授業がなくなり、すべて夏期講習用の時間割へと切り替わります。また、今年是个別クラスにおけるKAIZAPや、トーキングキッズにおける英検5・4級合格講座、そらばんクラスの計算完ペキ無料講座など、学習部以外のオプション講座も充実させる予定です。各詳細は別途お配りするお知らせにてご確認ください。まとまった時間が取れる夏休みは、前学年や1学期までの学習内容を復習できる大きなチャンスです。ここで自分の不理解箇所をしっかりと克服しておくことによって、2学期以降の学習の理解度が大きく変わってきます。各学年の生活面や夏期講習でのポイントをまとめておきますので、ぜひ参考にしてみてください。

【小学4年生～6年生】

小学部の夏期講習は午前9時からスタートします。せっかく学校が休みなので、朝ゆっくり寝たい気持ちはよく分かりますが、朝から塾があることによって、規則正しい生活リズムが生まれます。朝ダラダラしてしまうと生活リズムが崩れて、無駄な時間が生まれがちですが、規則正しい生活になると時間を有効に使うことができます。午前中は夏期講習で頭を使って脳を目覚めさせ、家に帰ったらすぐにその日の宿題に取り掛かりましょう。このときに学校の宿題も併せてやっておくと、夏休みの最後に慌てなくて済みます。午後2時くらいを目安に勉強を終わらせれば、残りの時間は自由時間。自分の好きなことに打ち込めます。

小学部の授業では、国語と算数は夏期講習テキストを使って重要単元を復習し、理科と社会はフリーラーニングで弱点の克服を目指します。国語では、先生が黒板を使って説明文や物語の読み方、問題の解き方のポイントを丁寧に解説します。算数では、基礎問題から応用問題まで先生が解き方を説明し、問題演習で一人一人の理解度を確認していきます。どちらの教科も、しっかりと先生の板書をノートに取

ることがポイント。家で宿題をするときに戻り学習が可能になります。集中して丁寧にノートを書くよう心掛けてください。

【中学1年生】

4月に入学してから、怒涛のように過ぎていった1学期。夏休みに入り、ようやく一息つけるかと思いきや、部活動で毎日忙しい子達も多いかと思えます。ようやく基礎体力がついてくる時期でもありますが、やはり一番暑いこの時期、熱中症にはくれぐれも注意してください。屋内・屋外に関わらず、こまめに水分を補給することを心掛けましょう。また、中学生になってからはご家庭によって門限が少し遅くなったりする場合もあるかと思えますが、塾のない日はなるべく日没前の明るいうちに帰宅するようにしましょう。

中1で特に重要な教科は英語と数学の2つ。どちらの教科にも共通しているのは、積み上げ学習が必要であるということ。1学期の学習内容がしっかりと理解できていますか? 英語ではbe動詞と一般動詞、数学では文字式と方程式。これらは中学校3年間の学習の基礎の部分、つまり土台となります。この土台がしっかりといてなければ、2学期以降の学習が全て崩れてしまいます。「中1の1学期からもっと勉強を頑張っておけばよかった…」と、中3になってから後悔している先輩達を何人も見てきました。今ならまだ間に合います。夏期講習では特に上の2教科の内容をしっかりと復習し、確実に理解して2学期に向けて弾みをつけましょう。

【中学2年生】

中2はよく「中だるみ」の学年と言われます。部活では後輩ができ、先輩が引退することで中1のときのような緊張感が薄れるということや、受験学年ではないため、勉強に身が入らなくなる等が理由として考えられます。この中だるみは、特に夏休み後の2学期に多く見られる傾向があります。夏休み中の交友関係が2学期以降に影響する場合もあるので、保護者の方はお子様の様子に気を配るように心掛けてください。

生徒の皆さんは、中2の時期の重要性についてしっかりと理解しておいてください。高校入試では、中1と中2の学習内容からおおよそ7割出題されます。ということは、中2が終わるまでに、それまでに習った学習内容をしっかりと

理解しておけば、中3になってからの受験勉強の負担がグッと軽くなります。1学期に習った内容は、この夏期講習でしっかり理解し、定着させましょう。それが来年の自分自身の為になります。

英語では、1学期で時制をひと通り学んだこととなります。時制とは、現在形・過去形・未来形のことです。英語ではこの時制の違いが非常に多いので、夏期講習でしっかりマスターしましょう。また、不定詞や比較など、入試で頻出の単元も確実に理解しておいてください。数学では、連立方程式と一次関数をしっかりと理解しておきましょう。特に一次関数は、入試問題で中3内容と複合して出題される場合が多い重要単元です。理解できるまで何度も演習しましょう。

【中学3年生】

夏期講習は受験生にとっての天王山。1・2年生の内容を一気に復習することができる最後のチャンスです。夏期講習が終われば、学校の実力テスト、塾では五ツ木模試、進研模試というテストが続き、ここで結果を残せなければ志望校を受験できるチャンスを失ってしまうこととなります。中3の夏期講習は昼の12時スタートなので、大半の生徒が部活動との時間の取り合いになるかと思えます。体力的にも精神的にも本当にきつい1カ月になりますが、ここでやり切れるかどうか受験の大きなポイントです。部活で遅れたり休んだ分は、必ず全て補習を受けてください。中3は各教科ごとに、夏期講習終了時までには終わらせる受験用テキストやツールがありますので、必ず全てやり切らしましょう。毎年この夏期講習を終えた後に、中3の生徒に「1カ月どうだった?」と尋ねると、「思っていた以上にしんどかった」という答えが返ってきます。しかしその後、「でも、しんどかった分、すごくやりきった感がある」という言葉も。苦しさを乗り越えた人だけが、喜びや達成感を味わうことができるのです。そしてその経験が、一生の財産になります。全員が最後に達成感を持って締めくくられるように、先生達も心を鬼にして全力で指導することを約束します。共に実りある夏期講習にしましょう!

Lecture



EDUCATION LECTURE 教育講演会

第8回教育講演会

「オール5を目指す!カイチ流
定期テスト学習法」を実施しました。

井上 陽平 (関目教室)

6月16日(土)、鶴見区民センターにて、第8回教育講演会を開催いたしました。今回は、高木塾長をはじめ、各教科主任が講師として演壇に立ち、『オール5を目指す!カイチ流定期テスト学習法』をテーマに講演を行いました。1学期期末テスト対策の真っ只中、部活に勉強に忙しい時期ではありましたが、中学1・2年生対象の講演会に、内部生、外部生あわせて多くの生徒が参加し、定期テストの必勝法をお土産に帰っていきました。



▲高木塾長の面白いイラストと共に深いテーマがずっと入ってきました。

ここでは、講演会の内容をご紹介します。まず、『なぜ勉強しなければならないのか』と題し、高木塾長からお話がありました。カイチでは、テスト2週間前から、塾のない日に3時間自習を行い、テスト直前の土曜日には、9時間自習を行っています。ここまでやる「ガチな塾」はそうそうないでしょう。それだけカイチ生は頑張ってテスト対策をしています。にも関わらず、結果がキチンと出た生徒と、そうでない生徒がいます。その原因は、生まれ持った才能や能力の問題以上に、勉強の仕方に問題があるのです。では、結果を残している子の正しい学習方法とは何なのか。それは、「目標点数を教科毎に書き出し、その点数を取るためにすべきことを書き出し、それらをすべてやり抜くこと」です。彼らは、「明確な目標を持ち、その目標を紙に書き、毎日見ている」のです。目標を紙に書き、毎日眺めることで、その目標を達成するためにやるべきことが見えてきます。



▲皆一生懸命。テストに活かしてくれそうですよ。

これらのやるべきことを一つ一つ達成することで、目標の達成が近づきます。単純に、それをやるかどうかだけの問題なのです。この単純な目標達成の方法は、定期テスト対策だけでなく、高校・大学等の受験や、仕事、趣味、果ては人生の夢を叶えるための方法でもあります。そして、この方法はスポーツやゲームのように、何度も繰り返す中で、誰でも上達します。つまり、カイチでは定期テストの勉強を通して、目標を持ち達成するプロセスを繰り返し練習することで、夢を叶える方法を学べるのです。高木塾長が投げかけた、「なぜ勉強しなければならないのか」という問いの答えは、成績を伸ばすためだけでなく、「夢を叶える方法」を身に付けるため、ということです。しかし、この方法を身に付け、上手に使えるようになった時、「どんな夢を持って良いのだろう」という大きな疑問を抱きます。この疑問の答えを求め続けていくこそが、「本当の頭の良さ」なのです。子供達には無限の可能性があり。彼らが一生懸命勉強して、一生懸命部活に励んで、一生懸命遊んでいる中に、将来の夢に繋がるきっかけがあります。子供達には、「自分は〇〇を通じて、世界中の人の役に立ちたい」と大きな夢を持ってほしい。「夢を描くのはタダです。自分のためだけでなく、世の中や社会のために持つ夢を、『志』のある夢を描いてほしい。定期テストの勉強は、夢(目標)を実現するトレーニングです。諦めず繰り返す中で必ず上達し、その努力は確実に将来に繋がっています。先生達も精一杯サポートしますので共に頑張りましょう。」高木塾長のお話は、このような熱い言葉で締めくくられました。



▲学習法では、平均90点以上の生徒の学習法を大公開してくれました。

次に、教務長の坪田先生より、具体的に定期テストでの目標の立て方の説明がありました。カイチでの定期テスト対策の肝は、「スケジュールシート」です。まず、このシートに目標点数を書き込みます。この目標点は、「精一杯やったらとれる」「最低これだけはとりたい」と思える目標点になっ

ていることが大事です。次に、トータルスケジュールに目標点を取るため「実際にやるべきこと」を書き出していきます。「何を」「どれくらい」「いつまでに」勉強するのか意識して記入します。特に、期日をきちんと書き、その日までに達成できたかをチェックすることが大切です。最後に、ウィークリースケジュールに1週間の具体的な計画を立てます。この時、トータルスケジュールで書いた項目ごとに、何時間かかるかを考えて書き込んでいきます。すると、思ったより時間がないことに気づくでしょう。学校や部活で忙しい中、どのように時間を作るかがポイントになります。このように、目標から逆算して計画を立て、それを毎日チェックして実行することで、着実に目標点に近づいていきます。

そして、各教科主任が目標を達成するための勉強法を伝授しました。それぞれの教科の先生が、個性的で分かりやすい説明をしました。どの教科にも共通しているのは、インプット(暗記・基礎固め)とアウトプット(問題演習)を繰り返して行うことです。これらを効果的に行うことで、実力を身に付け、過去問でその実力をチェックする。この過去問の点数が目標点に少しでも近づくよう、もう一度インプットとアウトプットの反復や苦手箇所の質問をする。このサイクルで目標に一歩ずつ近づいていくのです。



▲先輩達の経験談は、みんな食い入るように聞いていました。塩崎先生最高499点に会場どよめく!

最後に、カイチの卒業生へのインタビューもありました。実際にカイチで学び、成長して巣立っていった先輩から、現役生達も大いに刺激を受けていました。参加した生徒の中には、一生懸命にメモを取る子や、各教室に戻って見違えるように勉強に取り組み始めた子も見られ、今回の講演会が彼らにとって充実したものとなった様子でした。ひた向きに頑張る子供達の努力が最大限の成果に繋がるよう、我々スタッフも尽力していきます。

Request

Googleコメントへのご協力をお願いします。

平素は当塾の指導にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。この度、より多くの方に開智総合学院を知っていただきたく考え、保護者の皆様にGoogleの口コミの評価とコメント記入にご協力をお願いいたしてお知らせいたします。お忙しい折とは存じますが何卒よろしく願いいたします。なお、口コミ記入の際は、グーグルのアカウントが必要となりますので、ご注意ください。



※個人情報の観点から保護者の方のご入力をお願いします。